

InfiniVAN と IPSPRO、インドの Gnani と 3 カ国間デジタルインフラパートナーシップ—日本・フィリピンで AI エージェントサービス提供拡大

当社のフィリピン通信子会社 InfiniVAN, Inc.（以下「InfiniVAN」）と日本国内通信を担う子会社アイ・ピー・エス・プロ（以下「IPSPRO」）は、2026年3月2日、インドの先進 AI テクノロジー企業 Gnani Innovations Private Limited（以下「Gnani」）と、3カ国間のデジタルインフラパートナーシップを発表し、フィリピンの首都マニラにて共同調印式を開催しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

InfiniVAN と IPSPRO は、2025年11月7日付の当社ニュースリリース「IPSPRO と InfiniVAN、Voice AI 技術によるオペレーター支援サービス導入—インドの先進 AI テクノロジー企業 Gnani のライセンス販売開始」にて発表したとおり、Gnani が開発した Voice AI 技術による「AI エージェントサービス」（以下「本サービス」）のライセンス販売代理店契約を結びました。本サービスは、AI や自動音声応答（Voicebot）を使って企業のカスタマー・リレーションの完全自動化を可能とし、業務効率化や顧客対応の品質向上を実現する画期的な取り組みとなります。

当社グループは、本パートナーシップを通じ、通信インフラに続く次世代の社会基盤として AI 関連サービスの提供に積極的に取り組んでまいります。経済発展や人口増加を背景に、今後も多くの分野で需要拡大が見込まれる東南アジアや日本において、デジタルインフラや AI 関連サービスの提供を一層拡大するとともに、インド・太平洋地域の恒久的な発展に貢献してまいります。



写真左から、InfiniVAN の中原茂樹 President と宮下幸治 Chairman、Gnani の Ananth Nagaraj Co-Founder and CTO、IPSPRO の田中慶彦代表取締役社長

InfiniVAN の宮下幸治 Chairman は「今まさに AI テクノロジーの時代が到来しています。Gnani には確かな実績があります。これは、より大きな物語のほんの序章に過ぎません」と述べました。

Gnani の Ananth Nagaraj Co-Founder and CTO は「私たちは、音声こそが人間のコミュニケーションにおける最も根本的な形態であると信じています。将来的には、あらゆる層における人間と機械の相互作用が音声によって制御されると確信しています」と語りました。

調印式には、フィリピン貿易産業省の付属機関である投資委員会（BOARD OF INVESTMENTS）や、在フィリピン日本大使館、インド大使館、フィリピン大学などから、多くの関係者にご参加いただきました。

【本サービスの概要】

99%超の日本語音声認識精度や 0.8 秒の応答速度（業界平均 2.5 秒）といった先端技術により、以下のサービスを一括で提供いたします。

- 音声認証：音声による顧客認証
- 自動応答：AI が音声で自動的に対応する AI ボイスボット
- オペレーター支援：顧客からの要望のリアルタイム要約や予測回答提案
- 通話分析：感情分析や対応品質の調査

【本サービスの提供先】

顧客のニーズに合わせた汎用性が特長となっており、金融や保険、メーカー、通信事業者、e コマース（電子商取引）と、幅広い業種や分野への提供が可能となっております。Gnani においても、グローバル展開する大手の自動車企業や金融機関、消費財メーカーなどに多数の導入実績があります。

■ InfiniVAN について

フィリピンにおいて、通信インフラの構築を通じ、社会課題解決や地域間格差の是正に取り組んでいます。2023 年にフィリピンの島々を結ぶフィリピン国内海底ケーブルネットワーク（PDSCN）が完成し、ルソン島から中部ビサヤ諸島、南部ミンダナオ島までフィリピン全土に通信サービスを展開しています。

■ IPSPRO について

株式会社アイ・ピー・エス傘下で、日本においてコールセンター事業者向けサービスを主力事業としています。インドの企業が開発し、顧客管理とコールセンターシステムを一元化したプラットフォーム「Ameyo」のライセンス販売を軸とする独自のソリューションサービスは高い評価をいただいています。

■ Gnani について

AI 技術に特化したインドのテクノロジー企業で、創業は 2016 年。卓越した専門家チームにより、40 以上の多言語に対応する AI エージェントを開発しています。AI 産業育成を目指すインド政府の支援プログラム「AI ミッション」にて基盤 AI モデルの開発に当たるスタートアップの 1 社に選定されています。

以上

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社アイ・ピー・エス（東証プライム 4390）

経営企画部 IR 課 <https://ipsism.co.jp/ir/inquiry/>

東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号